

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	Andante Kind		
○保護者評価実施期間	8年 1月 5日		8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	8年 2月 1日		8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達・ニーズに合わせて、個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っています。	個々の成長を見逃さず、保護者様と共有しながら、困りごとが解決できるようにしています。	保護者様が満足していただけるような、具体的な支援が出来るようにしていきます。
2	担任制を導入し、個別療育に力を入れ、個々の発達・特性に合った療育や活動を行っています。	利用日の療育内容、活動内容、その日の様子等を連絡ノートを通して保護者様に伝えています。その中で、保護者様と様々な点を共有出来るようにしています。	子どもたちがそれぞれ成長できるように、職員と保護者様が同じ方向性を持って共有し、連携を図りながらいつでも対応できるようにしていきます。
3	個別療育と小グループ活動を取り入れ、それぞれに合わせたプログラム内容を設定しています。	個別療育時は室内を個室化し、小グループ活動時は、室内を開放する等、子どもたちが切り替えがしやすいようにしています。	個々に合わせた内容の取り組みをしながら、職員間で気付き等の意見交換をしたり、プログラムが固定化しないようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所においての保護者様同士の交流ができていません。	現在、交流の機会は設けることが出来ておらず、保護者様同士の情報共有ができていないです。	保護者様が安心できるように意見交換の場を設け、家族支援に繋げていきます。
2	事業所では、各マニュアルが作成されていますが、保護者様への周知が不十分でした。	各マニュアルに合わせた取り組みや訓練等は行なっていますが、連絡ノートでの報告しか出来ておらず、不十分でした。	積極的に取り組み、内容を理解していただけるように、保護者様への案内を徹底していきます。
3	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や地域との活動をする機会がありません。	地域交流等の活動は、療育時間内には難しい点から出来ておりません。	どういう取り組みがあるのか、安全面にも配慮しながら方法を考えていきます。